

子どもの持っている力を伸ばしていけるよう、家庭を含めて支援します。生まれたときから学校を卒業するまで、切れ目のない支援をします。

背景

発達に課題のある子どもを育てる家庭の多くは将来の不安を抱えています。子どもの成長とともに関係する機関が変わるため、支援がうまくつながらないことがあります。

- 専門的な支援機関が子どもにかかわる機関をサポートします。
- 保育所や幼稚園、小・中学校、特別支援学校と教育委員会、市の関係する課が協力して、支援がうまくつながるようにします。
- 浜松市子育てサポートはますくファイル^{※12}、サポートかけはしシート^{※13}などを使って、保護者を含めた関係する機関が子どもの成長にかかわる情報を共有して、切れ目のない支援をします。

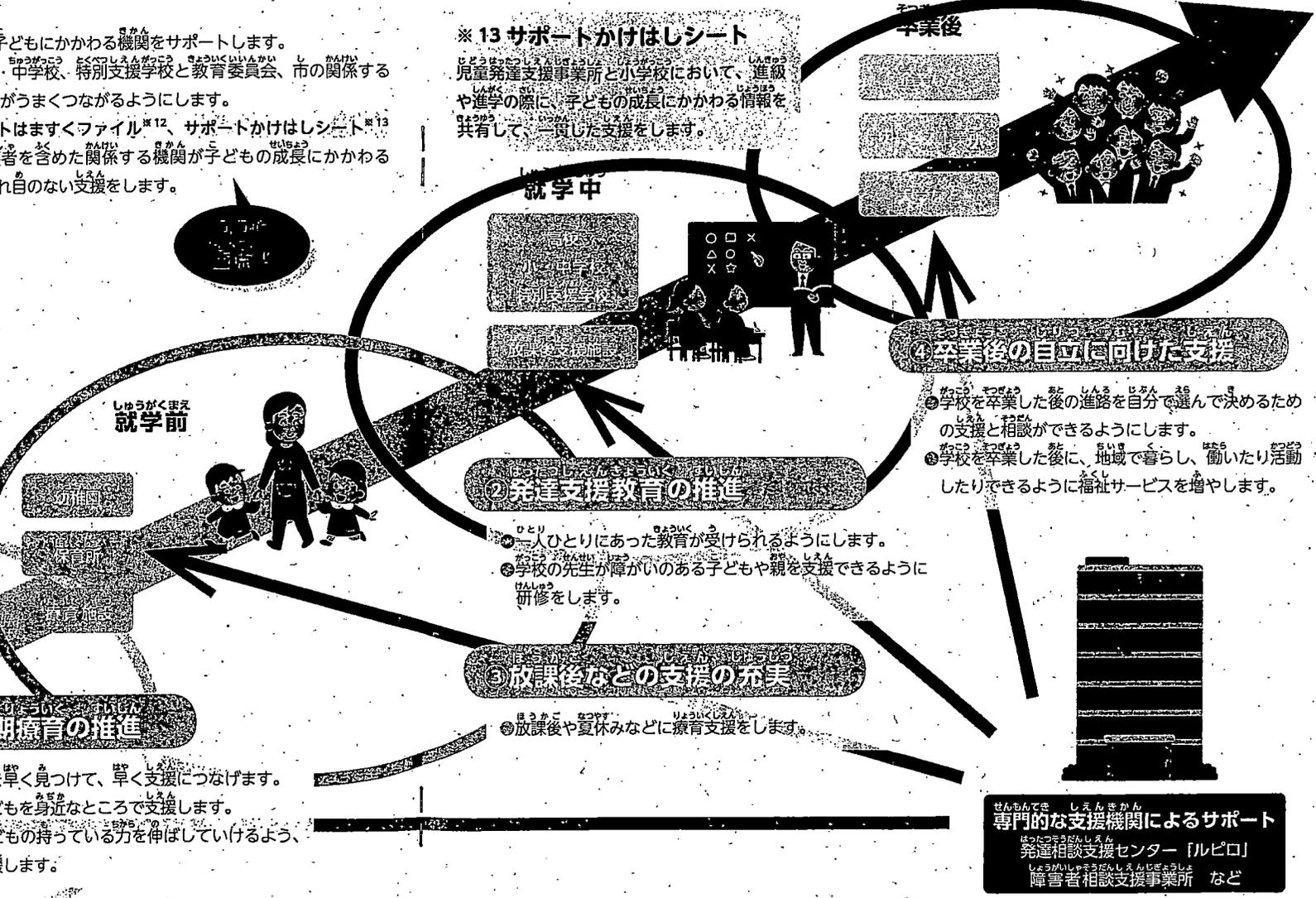
※13 サポートかけはしシート

児童発達支援事業所と小学校において、進級や進学の際に、子どもの成長にかかわる情報を共有して、一貫した支援をします。

※12 浜松市子育てサポートはますくファイル



保護者と保健、医療、福祉、教育などの関係する機関が子どもの成長にかかわる情報を共有して、子育て家庭をサポートします。ウェブサイト「はますく Q&A」でも、悩みや子育ての不安についてアドバイスをしています。



① 早期発見・早期療育の推進

- 子どもの発達の課題を早く見つけて、早く支援につなげます。
- 発達に課題のある子どもを身近なところで支援します。
- 発達に課題のある子どもの持っている力を伸ばしていけるよう、保育所や幼稚園を支援します。

② 発達支援教育の推進

- 一人ひとりにあった教育が受けられるようになります。
- 学校の先生が障がいのある子どもや親を支援できるように研修をします。

③ 放課後などの支援の充実

- 放課後や夏休みなどに療育支援をします。

④ 卒業後の自立に向けた支援

- 学校を卒業した後の進路を自分で選んで決めるための支援と相談ができるようにします。
- 学校を卒業した後に、地域で暮らし、働いたり活動したりできるように福祉サービスを増やします。

専門的な支援機関によるサポート
発達相談支援センター「ルビロ」
障害者相談支援事業所 など